

はじめに

名古屋市環境科学調査センターは、名古屋市環境局の調査研究機関として、環境行政を科学的・技術的側面から下支えする使命・役割を担っています。

このたび、令和4年度の業務実績や調査研究の成果をとりまとめ、年報（第12号）として発行する運びとなりました。ご高覧いただき、ご意見・ご指導等のお声を頂戴できれば幸いです。

令和4年度は、令和2年初頭から続いた新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会経済活動等の停滞・自粛（コロナ禍）も回復傾向となり、実験講座や調査研究発表会を3年ぶりに実地開催することができました。対面による市民の方への説明や発表には緊張感がありますが、関心の高さから寄せられる鋭いご質問やご感想等を直接いただくと、新たな気付きが生まれ、達成感や充実感と共に今後の調査研究への意欲・使命感に繋がります。

一方で、コロナ禍でのオンライン講座等の「副産物」として、職員の動画制作技術や簡潔に分かりやすく説明するプレゼンテーション技術の向上が図れました。令和4年度は、多くの動画を当センターの公式YouTubeチャンネルで配信しました。情報発信力の強化や当センターの認知度向上をめざし、職員がアイディアを出し合い、創意工夫しながら制作したものです。どうぞお気軽にご覧いただければと思います。

これからも市民の皆様の健康と安全で快適な生活環境の保持のため、様々な環境課題の解決に向けた調査研究を進めるとともに、効果的な情報発信に努め、成果の施策反映や市民還元に供してまいりたいと思います。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年12月

名古屋市環境科学調査センター
所長 坂下 昌弘

